

研究への協力のお願い

— Dual energy CT 検査を受けられた患者さんへ —

研究期間:研究実施許可日 ~2027年 3月 31日

この度、Dual energy CT(2つの異なるエネルギーを用いて撮影するCT)検査に関する研究を行うことになりました。研究対象となる方の検査結果を本研究のために使用させていただきます。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。

研究対象となる方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合は、下記の間い合わせ先までご連絡下さい。ご協力いただけない場合でも、不利益が生じることはありません。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

〔研究課題〕承認番号 M2020-386

〔研究期間〕研究実施許可日 ~ 2027年 3月 31日

〔研究責任者〕東京科学大学病院放射線診断科 足立 拓也

〔研究目的〕Dual energy CTを撮像に用いたことによる有用性や問題点を抽出・考察することです。

〔研究意義〕CTは多数の領域において欠かすことのできない画像モダリティですが、患者さんへのX線被ばくやアーチファクト(X線の特性による画質不良)が常に問題となります。またCTは空間分解能に優れているものの、物質の組成などを評価することは不得手としていました。

近年、2つの異なるエネルギーで撮影するdual energyを用いることで造影剤低減、アーチファクト低減、ヨード造影剤による造影効果の増強や骨髄浮腫の検出、実効原子番号の推定など実臨床において様々な用途で用いられるようになってきています。しかし、臨床応用への日が浅く、用途が多様であるために現状では各臓器、CT装置会社毎に最適化された撮影が行われることへの障壁は高いです。そのため、各領域の画像でdual energy CTの最適な撮影法、従来のCTと比較した際の優位性についての報告が求められています。

〔対象・研究方法〕2020年04月01日から2025年3月31日までの間に、当院に来院されDual energy CTでCT撮影を行なった患者さん(成人・小児)を対象とします。当該患者さんの画像についてdual energy CTの被曝量データや客観的及び主観的に画質を後方視的に評価します。評価したdual energy CTのデータから、疾患ごとに最適な撮像パラメータ(管電圧・管電流など)を検討し、さらなる被曝低減の取り組みに役立てます。

〔申請目標例数〕500例

〔対象者への謝礼〕対象となる患者さんへの謝礼はありません。

〔個人情報の取り扱い〕研究を行う際は画像データ・その他関連情報に匿名化を行い、これに関わる個人情報は、研究責任者によって厳重に管理されます。研究結果に関して国内外の学会や雑誌で発表する場合がありますが、その際も、個人を特定できるような氏名、住所などの個人情報を外部に公開されることは一切ありません。

〔研究に関する情報公開〕研究結果、得られた研究データについては研究対象者の身元を特定できない状態で国内外の学会、学術論文に公表する予定です。

〔試料等の保管〕研究に用いられた画像データの保存期間は結果発表後10年とし、試料・データの二次利用は行いません。保管責任者は研究責任者(足立拓也)が行います。

〔研究資金および利益相反〕本研究に関わる費用は一切ありません。本研究は大学の運営費用を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われられないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

問い合わせ先

研究責任者: 足立拓也 東京科学大学病院 放射線診断科・助教(対応可能時間帯平日 9:30~17:00)

住所: 〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL:03-5803-5311(医局)

苦情等窓口: 東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ 03-5803-4547(対応可能時間帯平日 9:00~ 17:00)

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。